



新しい年を迎え、早くも半月が過ぎました。今年もみなさんが健康で安全に一年を過ごせるように情報を提供していきたいと思います。



赤ちゃんがなんでも口に入れて、
ばい菌や病気が心配…

振り返ると赤ちゃんがスリッパを口に入れていてビックリした、ばい菌や病気が気になって赤ちゃんが口に入るものは何でも除菌シートで拭いている、なにかを口に入れようとしたらやめさせている、といった話を聞くことがあります。なんでも口に入れる行動、赤ちゃんのためにはどうしたらいいのでしょうか？

●この時期に赤ちゃんが色々な物に興味を持ち口に入れて確認する行動は、
その後の発達のために欠かせません

【この経験によって育つところ】

- ・色々な物の性質や、形や色、味や触覚などの経験を積んでいく
- ・自分のまわりの世界に対して自発的に興味を持つ
- ・手の運動機能が発達する

●赤ちゃん時代から雑菌がついた物を舐めることで病気に対する抵抗力が付きまます

私たちの生活している世界には、たくさんの雑菌が存在しています。人の身体は様々な雑菌を身体に取り込むことで免疫を作っていきます。つまり、赤ちゃんがなんでも口に入れる時期は、身近な雑菌に対する免疫がつく時期とも言えます。家庭では日常的な掃除ができていれば神経質になる必要はありません。

この時期は
口に入れるのを
“やめさせる”
のではなく

舐めると**危ない物**
舐められると**困る物**
飲み込んでしまう物

赤ちゃんの**行動範囲**や**目の届く場所**
には置かないようにしましょう

気をつけましょう！

～窒息や中毒の危険がある危ない物～
 たばこ、薬、金属類（クリップや硬貨など）
 ボタン電池、洗剤類、食品、
 乾燥剤、小さなおもちゃ、
 ビニール、ペットボトルの蓋、
 ボタン



など

～ケガや誤飲の恐れがある場所～
 コンセントケーブルやプラグ
 （引っ張った時に落ちてきたもので
 ケガをすることがある）
 引き出しや扉・戸棚・
 ゴミ箱



など